

1 そのとき、家の中はどうなる!

緑区では、南海トラフ巨大地震が発生した場合、多くの地域で震度6弱～震度6強、一部地域では震度7が想定されています。そのとき、家の中はどのようなになるのでしょうか。

震 度	人の体感	室内の状況
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れに翻弄され、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れ、飛ぶこともある。



●室内では、震度4以上から吊り下げ型の電灯が大きく揺れ、室内が危険な状態になります。また、マンションなどでは高層階になるほど揺れが大きくなる傾向があり、家具類が移動・転倒・落下するなどの危険が高まります。

～被災者が語る体験談『あの時、何が起こったか』～

- 重いキャビネットが倒れてきそうになったが、立ち尽くすことしかできなかった。地震後は、キャビネットを移動し転倒防止対策をした。(鳥取県西部地震)
- ドレッサーは3m先に飛び、観音開きのサイドボードからは、食器が全部落ちて割れた。(宮城県北部地震)
- L字金具で止めた食器棚以外は全て倒れ、2階から1階の茶の間に行くのに10分もかかった。やはり、全部留めておけば良かった。(宮城県北部地震)
- 食器が水のように流れてきて、観音開きの棚の上の方に大事にしまっていた高価な物はほとんど壊れた。ガラスの破片で孫も怪我をし、食器やガラスは凶器になると実感。(能登半島地震)



2 器具不要! お金もかからず今すぐできる方法

家具には高価なものもあり、賃貸住宅などでは、壁に傷をつけることができない場合もあります。また、固定後の「見た目」にこだわる方もいらっしゃるでしょう。しかし、収納法や家具のレイアウトを見直すだけでも安全性は高まります。

収納方法を見直そう!

高い場所に物を置かない	不安定な場所に家具を置かない	重いものは下、軽いものは上に
家具の上などの高い場所に割れ物やテレビなどの重い家電製品があると、落下し危険です。	カーペットなどの柔らかく不安定な場所に、倒れやすい背の高い家具を置かないようにしましょう。	本箱や整理筆筒に収納する場合は、重いものは下、軽いものを上に収納します。できるだけ重心を低くして、転倒を防ぎましょう。

家具のレイアウトを見直そう!

安全なスペースをつくる

震度6弱以上になると動くことが困難になるので、寝室や子供部屋にはできるだけ家具を置かないようにして、安全なスペースをつくりましょう。

ベッドの上に転倒

ベッドのない所へ転倒

家具の転倒方向が就寝場所と重ならないようにおきましょう。

避難経路を確保する

出入り口の周辺や玄関に続く廊下には、避難の妨げになる倒れやすい家具を置かないようにしましょう。

ドアが開かない

ドアが開く

倒れても出入り口を塞がないように位置と向きを工夫しましょう。

3 家具を固定してもっと安全に!

転倒防止器具には右図のように様々な種類がありますが、天井や壁の強度が必要なものや、組み合わせて使用することにより効果を発揮するものがありますので「どこに、何を」固定するのかで適正な方法を選びましょう。

使用条件	小	器具の効果				大
単独使用	ストッパー式 マット式	ポール式	L型金具 (スライド式) ベルト式 チェーン式	L型金具 (上向け取付け) プレート式	L型金具 (下向け取付け)	
組合せ使用		家具と天井に十分な強度が必要		家具、壁面や器具に十分な強度が必要		

L型金具で固定する方法

L型金具やベルト式で固定する場合は、間柱等の下地材に固定します。
※下地材の位置は、探知用センサーやプッシュピン、壁を叩いた音による打診で確認します。

間柱などの下地材が適当な位置に無い場合は、横木を間柱に取り付け、横木にL型金具を取り付けて固定します。

実は 家の中はこんなに危険がいっぱい!

家屋内の平面図

大型のダンス
▶ 転倒するとベッドに覆いかぶさってきます。

流し台の上の吊戸棚
▶ 収容物が飛び出します。

冷蔵庫
▶ 転倒すると食品が散乱したり、取り出せなくなります。

鏡台
▶ 転倒すると鏡が割れ、避難ルートをふさいでしまいます。

食器棚
▶ ガラスや陶磁器が飛び出し、床に散乱すると大怪我につながり避難も困難に。

テレビ
▶ ソファでくつろいでいるところへ、テレビが飛んできます。

ポール式器具で固定する方法

天井との間にポールを突っ張って固定する方法です。この方法はコンクリート天井など強度がある場合に適しており、強度がない場合は、天井側に補強板をつけることで天井に面で力が加わり効果が高くなります。



ポールは家具の両端、奥側に設置します。

ストッパー式器具で固定する方法

ポール式を使用する場合は、ストッパー式やマット式と併用し、家具の上下に対策をすることで効果が高まります。また、ストッパー式は、家具の端から端まで敷くと更に効果が高まります。



液晶テレビを固定する方法

テレビ台を床や壁にL型金具などで固定したあと、テレビとテレビ台をベルトや粘着性マット等で固定しましょう。



冷蔵庫を固定する方法

冷蔵庫背面上部のベルト取付け部分と壁とをベルト式器具で連結しましょう。また、移動用のキャスターを、必ずロックしましょう。



その他、観音開きの扉には扉解放防止器具の取り付け、テーブルなどの家具類は、足と床面との間に滑り止め防止マットを設置し、安全性を高めましょう。

4 「時間がない」「自分で取り付けるのは不安」というあなたに...

モットーは、より早く! より安く! より美しく!

- 緑区では、家具の転倒防止を広く区内に啓発するボランティア団体「家具転倒防止ボラ緑」が、区役所及び消防署と連携し、転倒防止器具の取り付けを始め、家具の固定方法に関する相談に応じています。「時間がない、自分で取り付けるのは不安、方法が良くわからない」などの理由で取り組めない方は、是非、「家具転倒防止ボラ緑」にご相談下さい。※概要はチラシの裏面をご覧ください。

家具転倒防止ボラ緑の施工例を一部ご紹介!

重たいピアノもベルトで壁に固定し、レースを掛ければベルトも目立ちません。

L型金具の下向け取り付けで目立たずに
※家具が動かせる場合のみ

お仏壇は左右の側面と壁を突っ張り扉を開ければ見えないように施工